

久留米シティプラザ ユースプログラム 新らしい演劇鑑賞教室 後期 参加者募集!!

1 10月12日(土) 13:15-16:45

13:15-14:15 イン트로ダクション

14:30-16:00 プレレクチャー
「劇場で考える
～居心地のよい場所～」

16:10-16:45 感想シェア会

2 11月30日(土) 14:00-16:30

14:00-15:15 「重力の光：
祈りの記録篇」鑑賞

15:30-16:30 対話の時間

『重力の光：祈りの記録篇』は、さまざまな困難に直面する人々の生と、そこにある祈りのあり方を描き出す作品です。みなさんにとって祈りという言葉にはどのようなイメージがあるでしょうか。何かに対して祈りたい、と思う時はどんな時でしょうか。そして、映像で描き出される人々の祈りは、それとどのように違うのでしょうか。今回のユースプログラムは、人々がそれぞれの「居場所」となる場に出会い、演じ、祈るプロセスを追体験しながら、みなさん一人ひとりの立ち位置を確認するような時間になると思います。

——企画監修・進行 長津 結一郎
(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走 / 伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。障害のある人などの多様な背景を持つ人々の表現活動に着目した研究を行っているほか、音楽実技やワークショップに関する教育、演劇・ダンス分野のマネジメントやプロデュースにも関わる。2013年東京藝術大学大学院博士後期課程修了、博士(学術・東京藝術大学)。著書に『舞台の上の障害者：境界から生まれる表現』(単著。九州大学出版会、2018年)、『アートマネジメントと社会包摂』(共編著。水曜社、2021年)など。

久留米シティプラザ ユースプログラム 新らしい演劇鑑賞教室 2024 後期 参加者募集!!

作品の鑑賞と
参加者同士の対話などを
組み合わせたプログラム。



対象 / 15～25歳程度 ○指定する日程(10/12、11/30)にすべて参加できること
定員 / 15名程度 ※定員を上回る応募があった場合は抽選で参加者を決定します。締切後、応募者全員に結果をご連絡いたします。
料金 / 1,000円(高校生500円) ※料金には鑑賞チケット料を含んでいます。チケットの手配は不要です。 ※お支払いは参加決定後、ご連絡いたします。
応募方法 / 次の①～⑧を明記の上、応募先まで電子申請、郵送のいずれかでご応募ください。
①ユースプログラム後期参加希望 ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④所属先(あれば。学校名/会社名など)
⑤メールアドレス ⑥電話番号(携帯番号) ⑦住所 ⑧応募動機(文字数の規定はありません)
※電子申請での応募の場合、返信をもって受付完了とします。5日以上たっても返信がない場合は、お問い合わせ先までご確認ください。
[電子申請URL] <https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/VkcfBSwL>

募集締切 / 2024年10月2日(水) 必着
ご応募・お問合せ / 久留米シティプラザ「ユースプログラム」係
TEL 0942-36-3000 (10:00～19:00 / 全館保守点検による休館あり) FAX 0942-36-3087
kcp-j@city.kurume.lg.jp



交通アクセス

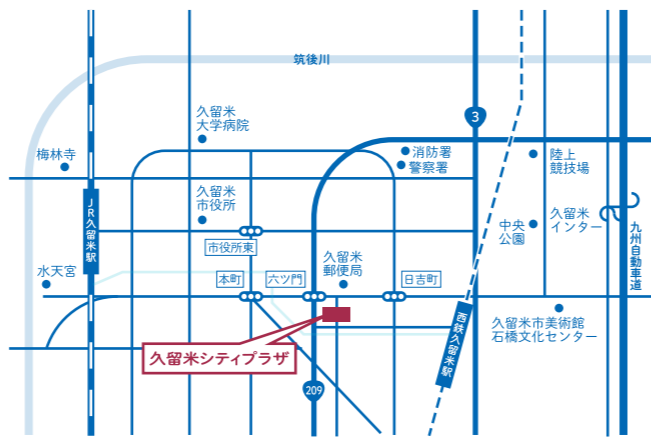
久留米シティプラザ

〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町 8-1

- JR : 久留米駅から路線バス10分、徒歩20分
- 西鉄電車 : 西鉄久留米駅から路線バス5分、徒歩10分
- バス : 「六ツ門・シティプラザ前」バス停下車
- 自動車 : 久留米I.C. から約15分

※久留米シティプラザ地下駐車場(109台/1時間200円) ほか周辺の駐車場をご利用ください

<https://kurumecityplaza.jp/>



後期は
映像作品を
鑑賞します

日程 | 2024年10月12日(土)、11月30日(土) 全2回

募集締切 | 2024年10月2日(水) 必着 会場 | 久留米シティプラザ

主催 久留米シティプラザ(久留米市) 連携 久留米大学 文学部 国際文化学科



実施概要

久留米シティプラザで2022年度から行なっている「知る／みる／考える 私たちの劇場シリーズ」は、アーティスト独自の視点で時代を捉え、表現方法をも模索し応答する意欲的な作品を紹介しています。このシリーズに合わせて、若者が作品を鑑賞するための入口づくりを目指して、作品の鑑賞に参加者同士の対話の時間などを組み合わせたのが、ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」です。

2024年度後期に取り上げるのは、石原海「重力の光：祈りの記録篇」です。芸術に触れてみたい方、今まで知らなかった世界へ踏み出してみたい方など、みなさまの参加をお待ちしています。



石原海「重力の光：祈りの記録篇」

アートと映像の領域を横断してビデオ作品を手がけ、映像作家 UMMMI. としても世界的に評価される石原海が、移住先である北九州の教会で出会った人々とともに制作したドキュメンタリー映像作品。さまざまな困難を抱えながら教会に通い、祈りをささげる人々がキリストの受難劇を上演する過程を追いかけてながら、登場するひとりひとりの半生を本人のモノローグを通して映し出します。

社会の「常識」「慣習」と呼ばれているものに、うまくなじめない人々のことを作品で描き出してきた石原。生きづらさはどこからくるのか、その悲しみは誰のせいなのか、作品を通じて社会に問いかけます。

あらすじ 困窮者支援を行うNPO法人抱樸（ほうぼく）の奥田知志が牧師を務める東八幡キリスト教会（北九州市）には、様々なバックグラウンドの人々が集まっている。フィリピンで戦争を経験した人、5回の服役後極道から足を洗うも世間につまはじきにされた人、妻と子どもが出ていき、自暴自棄になって多額の借金を背負った人、路上生活をしながらも食べられる程度の稼ぎを得ていたが、時代の流れの中でそれすらまもなくなくなった人、親や周りの大人たちに殺すぞと毎日言われ続けた人、生きるのが苦しく、「早くいなくなりたい」と願っていた人、繰り返す病に苦しみぬいてきた人…。教会に集うこれら9名の人々がイエス・キリストの復活を描いた受難劇を演じる様子とともに、彼らが歩んできた苦難と現在の物語一礼拝の様様や支援活動、それぞれの日常を交錯させながら描くドキュメンタリー映像作品。

日時 | 2024年11月30日(土)、12月1日(日) いずれも14:00開始
〈上映時間72分間〉

会場 | 久留米シティプラザ Cボックス

本プログラムの参加者は
11/30(土)
鑑賞

監督 | 石原海

ロンドンと東京を拠点にする映画監督／アーティスト。コミュニティ、そして社会から疎外された人々を描くことを主なテーマに、個人的な記憶と社会問題を織り交ぜた物語ベースの制作をしている。2018年東京藝術大学先端芸術学科修了。現在ロンドン大学ゴールドスミス校アーティストフィルム学科在学中。近年の主な活動に『スウィート・ホーム・スウィート』（国立国際美術館、2023）第14回恵比寿映像祭（東京都写真美術館、2022）第15回資生堂アートエッグ入選（2021）初長編映画『ガーデンアパート』『忘却の先駆者』がロッテルダム国際映画祭に二作同時選出（2019）またAmazonプライムオリジナル作品『The Tour'23』（2023）BBC/BFI助成作品『狂気の管理人』（2019）を監督。現代芸術振興財団（CAF賞）岩淵貞哉賞受賞（2015）。



1 2024年10月12日(土)

「重力の光：祈りの記録篇」関連事業として広く一般向けに開催するプレレクチャーに参加します。終了後は、ゲストを交えて感想シェア会を行います。

13:15-14:15

イントロダクション

14:30-16:00

プレレクチャー 「劇場で考える～居心地のよい場所～」

16:10-16:45

感想シェア会

内容

プレレクチャーでは、あなたや誰かにとっての「居心地のよい場所」について考えます。そこで、地域社会における孤立や孤独について、公私の垣根を超えて働きかけてきた2名のゲストをお迎えし、活動内容や経験談をお伺いします。「ままならない人がままならないままでも生きていける社会」とはどういう状態のことでしょうか。お二人のお話から、「重力の光」の監督であり、自身が抱える生きづらさを起点に社会を見渡し制作し続けている石原海さんの視線の先を想像してみましょう。

ゲスト

江田 由貴子

(スナックうずしお主宰/作業療法士)

2011年、JICA海外協力隊で作業療法士としてモンゴルに赴任。その後、JICA草の根プロジェクトにてモンゴルやフィリピンの障がい当事者活動に関わる。帰国後、地元柳川で「多様性のあるまち」を目指して、障がい当事者や子育て仲間と共にイベントなどを通して場づくりを行う。コミュニティスペース「スナックうずしお」や「アートひろばやながわ」を主宰。二児の母。

國武 竜一

(NPO法人ホームレス支援福岡おにぎりの会・ベイサイドコースリーダー)

2004年より福岡市のホームレス支援活動にボランティア参加。本職はうきは市社会福祉協議会職員であるが、地域で排除、疎外され孤立しているケースに強く関心を持ち、他者との関りを拒んだり、交わりが困難な方に繋がるためには、またその心境が分かるにはどうしたらいいのかが一縷の光明を得るために、20年来活動参加を続けている。

2 2024年11月30日(土)

「対話の時間」では、作品を鑑賞し、考えたこと、感じたことを言葉にしてみます。他の参加者と対話を重ね、自身の鑑賞体験を深めます。

14:00-15:15

「重力の光：祈りの記録篇」鑑賞

15:30-16:30

対話の時間

プレレクチャー（10/12）、上映（11/30,12/1）は本プログラム参加者以外もご入場いただけます。

※ 詳細は久留米シティプラザ公式WEBサイトをご確認ください。

